



週間情報



No.0341 (11月23日休刊)

発行日 令和3年11月16日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

両会の動き

◆ 全国消防長会常任理事会をWeb会議で開催

全国消防長会

令和3年11月10日(水)、Web会議で、全国消防長会常任理事会を開催しました。
常任理事会における議案審議事項及び報告事項等並びに消防庁見解は次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 令和4年度消防財源の確保について
- 第2号議案 第45回全国消防職員意見発表会の開催について
- 第3号議案 第6回予防業務優良事例表彰について
- 第4号議案 次期常任理事会の開催について
- 第5号議案 次期役員会の開催について

【報告事項】

- 1 これまでの新型コロナウイルス感染症に関する消防問題検討会の取り組み状況について
- 2 令和4年度国の予算概算要求等における措置状況について
- 3 フッ素化合物を使用する泡消火薬剤の生産体制の確保に関する申入れについて
- 4 「第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会」及び「日本臨床救急医学会全国消防長会推薦評議員連絡会」の開催について
- 5 第50回全国消防救助技術大会の日程等について
- 6 定年引上げに関する総務委員会の対応等について

【配布資料】

一般財団法人全国消防協会の消防団体保険について



【常任理事会の様子】

【消防庁見解】

- 1 令和4年度消防庁予算概算要求について
- 2 緊急防災・減災事業債の対象事業拡充について
- 3 定年の引き上げについて
- 4 消防団員の確保に向けての更なる対応について

◆ 全国消防長会消防問題検討会をWeb会議で開催

全国消防長会

令和3年11月10日（水）、25名の委員にご出席いただき、全国消防長会消防問題検討会をWeb会議で開催しました。

昨年来、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により全国において多数の感染者が発生し、救急搬送困難事案の増加、消防本部におけるクラスターの発生等、さまざまな影響を受けてきましたが、住民の安全・安心の確保に向け、今後とも消防体制の維持に万全を期さねばならない状況です。このような状況を踏まえ、救急委員会委員長（仙台市消防局長）から「新型コロナウイルス感染症にかかる委員会での取り組み状況について」、また大阪市消防局長から「新型コロナウイルスに係る救急活動調査報告書について」説明がありました。引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴う救急搬送困難事案の対応状況について情報交換し、今後の課題について事務局から報告を受けました。

さらに、消防問題検討会として、国の動向等を踏まえつつ各事業推進委員会とも連携を図りながら、会員と情報を共有していくこととされました。

【議題】

新型コロナウイルス感染症に伴う消防行政の抱える課題について

- 1 これまでの新型コロナウイルス感染症に関する消防問題検討会の取り組み状況について
- 2 新型コロナウイルス感染症にかかる救急委員会での取り組み状況について
- 3 新型コロナウイルスに係る救急活動調査報告書（大阪市消防局）について
- 4 新型コロナウイルス感染症に伴う救急搬送困難事案の対応状況について
- 5 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う、これまでの各消防本部での対応を踏まえた今後の課題について



【消防問題検討会の様子】

◆ 一般財団法人全国消防協会通常理事会をWeb会議で開催

一般財団法人全国消防協会

令和3年11月10日（水）、Web会議で、一般財団法人全国消防協会通常理事会を開催しました。

一般財団法人全国消防協会通常理事会における議案審議事項及び報告事項は次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 令和3年度収支予算の補正（案）について
- 第2号議案 令和3年度公益目的支出計画変更認可申請について
- 第3号議案 全国消防救助技術大会実施計画の改正（案）について
- 第4号議案 次期臨時評議員会の開催について
- 第5号議案 賛助会員の加入について

【報告事項】

- 1 次期通常理事会の開催について
- 2 令和4年度全国優良消防職員表彰式の日程及び地区支部別表彰推薦割当人員等について
- 3 第50回全国消防救助技術大会の日程等について
- 4 令和4年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について

◆ 一般財団法人全国消防協会臨時評議員会をWeb会議で開催

一般財団法人全国消防協会

令和3年11月10日（水）、Web会議で、一般財団法人全国消防協会臨時評議員会を開催しました。

一般財団法人全国消防協会臨時評議員会における議案審議事項及び報告事項は次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 令和3年度収支予算の補正（案）について
- 第2号議案 令和3年度公益目的支出計画変更認可申請について
- 第3号議案 全国消防救助技術大会実施計画の改正（案）について

【報告事項】

- 1 次期臨時評議員会の開催について
- 2 賛助会員の加入について
- 3 令和4年度全国優良消防職員表彰式の日程及び地区支部別表彰推薦割当人員等について
- 4 第50回全国消防救助技術大会の日程等について
- 5 令和4年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の作品募集について



【通常理事会の様子】



【評議員会の様子】

◆ 第2回消防実務講習会（広報等）をWeb会議形式で開催

一般財団法人全国消防協会北海道地区支部

一般財団法人全国消防協会北海道地区支部では、令和3年10月21日（木）、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、第2回消防実務講習会（広報等）をWeb会議形式で開催しました。

本講習会は、採用10年未満の若年職員を対象に、基礎知識や技術の向上を目的として実施したもので、北海道内の50消防本部から消防職員300名が参加しました。

当日は、一般社団法人日本防災教育訓練センターの代表理事であるサニーカミヤ氏をお招きし、「火災防ぎょ戦術及び自然災害対応」、「住民対応・職場コミュニケーションに関して」などについて講演いただくとともに、消防本部ごとのグループワークを実施しました。

本講習会を通じて、さまざまな知識を得ることができたほか、他消防本部の職員との意見交換をすることができ、若年職員にとって刺激と実りのあるものとなりました。



【講習会の様子】

◆ パワーハラスメントに関する講演会をオンラインで開催

熊本県消防長会

熊本県消防長会では、令和3年10月29日（金）、パワーハラスメントに関する講演会をオンラインで開催しました。

これは、総務研修として実施したもので、県内の全消防本部をオンラインでつないで実施したものです。

講師は、全国消防長会の顧問弁護士である増田直毅氏に依頼し、「消防におけるパワーハラスメント」をテーマに、過去の事例等を交えながら法的な観点を踏まえて講演いただきました。

県内12消防本部の各署所100回線以上をつなぎ、400人以上が参加する貴重な機会となりました。

今後も、パワーハラスメント根絶へ向けて県内消防が一体となって取り組んでまいります。



【講演会の様子】

消防本部の動き

行事

◆ 高規格救急自動車の更新整備への寄附を受納

福知山市消防本部（京都）

福知山市消防本部では、令和3年10月25日（月）、扶桑化学工業株式会社から高規格救急自動車の更新整備への寄附を受納しました。

これは、当市が地域再生計画として市総合戦略に基づき策定した「福知山市まち・ひと・しごと創生推進計画」による防災対策及び消防・救急体制強化の施策に対し、同社に共感いただいたもので、令和3年度の高規格救急自動車の更新整備費として、企業版ふるさと納税制度を活用した2千万円の寄附を受納しました。

なお、同社からは、令和元年度にも化学消防ポンプ自動車の更新整備費として、1千万円の寄附を受納しています。

高規格救急自動車の更新整備により、高齢化社会の進展や住民意識の変化により日々増加する救急需要に応えるとともに、重症傷病者の社会復帰率の向上と市民の安心・安全な暮らしのため努めてまいります。



【寄附受納式の様子】



【寄附受納式後の記念撮影】

訓練・演習

◆ 取り壊し予定の建物を使用した訓練を実施

埼玉西部消防局（埼玉）

埼玉西部消防局では、令和3年10月11日（月）から16日（土）までの6日間、当消防局5署15隊の救助隊を対象に、取り壊し予定の建物を使用した訓練を実施しました。

本訓練は、災害により倒壊した建物内に取り残されている要救助者の救出を想定し、鉄筋コンクリート造の壁や床を破壊するブリーチング訓練を実施しました。

最近まで使用されていた建物を使用できたことにより、実災害のイメージや緊張感を持つことができ、大変有意義な訓練となりました。



【訓練の様子】

◆ 消防団に総合的な放水訓練指導を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁武蔵野消防署では、令和3年10月17日（日）、武蔵野市消防団を対象とした総合的な放水訓練指導を実施しました。

これは、消防署指揮本部と消防団指揮本部との連携強化に重点を置き、効率的かつ効果的な消防活動を実施できるよう、より実戦に近い形での総合的な訓練指導を実施したものです。

本訓練では、出火報を受信した各分団が、消防署隊の動きを考慮して出場順路と水利を選定する行動を取り入れました。また、出場前に街区ごとのホース延長方向をイメージしたあと、その情報を共有する態勢を構築しました。

さらに、本部分団が消防署指揮本部と連携して行う消防団指揮本部運営訓練を同時に実施し、刻々と変化する災害に対しての情報収集能力の向上を図るとともに、各活動分団へのフィードバックを全て無線交信で実施するなど、武蔵野市消防団が持つ消防力を効率的かつ効果的に発揮できる内容としました。

本訓練を踏まえ、当消防署と武蔵野市消防団との連携をさらに深化し、各種災害に備えてまいります。



【訓練指導の様子】

◆ 鹿児島県防災航空隊と合同山岳救助訓練を実施

伊佐湧水消防組合消防本部（鹿児島）

伊佐湧水消防組合消防本部では、令和3年10月19日（火）、管内の栗野岳において、鹿児島県防災航空隊と合同山岳救助訓練を実施しました。

本訓練は、山岳救助事案発生時に、同航空隊との連携強化を図るとともに、円滑で安全・確実な活動体制の構築を図る目的で計画したものです。

当日は、同航空隊との無線交信、航空機離着陸時の支援及び警戒、現場への救助隊員の搬送、要救助者の吊り上げ救出を実施しました。

今後も、災害現場でさらなる連携強化を図るため、定期的に訓練を実施し、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 合同連携訓練を実施

小牧市消防本部（愛知）

小牧市消防本部では、令和3年10月20日（水）、当市消防本部訓練塔において、隣接する春日井市消防本部消防署北出張所と合同連携訓練を実施しました。

これは、消防相互応援協定に基づく現場活動において、両消防本部の連携強化を図るため、平成26年度から実施しているものです。

当日は、市境界付近にある住宅の2階から出火し、要救助者が3名いるという想定で、ブラインド型の訓練を実施しました。

訓練後には、検討会を実施し、各隊の活動を振り返ることで、顔の見える関係づくりにもつながりました。

今後も、継続的に訓練を実施し、両消防署の連携強化・技術向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 石川岳において合同救助訓練を実施

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部石川消防署では、令和3年10月19日（火）から21日（木）までの3日間、石川岳において、うるま市消防団と合同救助訓練を実施しました。

訓練では、急勾配の登山道で足を負傷した要救助者が発生したという想定で、ロープレスキュー資機材を活用し、各隊が迅速・的確に連携して救助活動を展開しながら、お互いに協力体制を確認しました。また、ドローンで上空から搜索活動も並行することで初動対応の短縮を図ることができ、大変有意義な訓練となりました。

今後も、消防団との連携強化を図り、消防力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警防技術競練会を実施

大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、令和3年10月20日（水）、21日（木）、25日（月）の3日間、職員120名が参加し、警防技術競練会を実施しました。

その内容は、1隊4名の部隊が、隊長の指揮のもと、防火衣・空気呼吸器の着装、消防ホースの延長、高所への進入活動などについて、その所要時間、確実性を審査する競技会方式で実施したものです。

今後も、さらなる警防技術の強化に励み、住民の安全・安心な生活へとつなげてまいります。



【訓練の様子】

◆ 電柱事故救助研修を実施

羽島郡広域連合消防本部（岐阜）

羽島郡広域連合消防本部では、令和3年10月26日（火）、27日（水）の2日間、株式会社トーエネック岐阜南営業所において、電柱事故救助研修を実施しました。

この研修は、電気に関する知識を習得し、電柱上で発生した事故現場において、安全・確実・迅速な救助活動を展開できるようにする目的で実施したものです。

両日とも、トーエネック職員から電柱の設備や活動上の注意点について講義を受けた後、電柱上で要救助者が感電したという想定で救出訓練を実施しました。

今回の研修を通して、電柱上での活動は迅速な救助活動が求められることに加え、感電防止や落下防止の安全対策が必要不可欠であることを再確認でき、良い機会となりました。



【訓練の様子】

◆ LPガス漏洩を想定した消防訓練を実施

松江市消防本部（島根）

松江市消防本部では、令和3年10月27日（水）、荒木燃料株式会社の協力のもと、LPガス漏洩を想定した消防訓練を実施しました。

これは、高圧ガス保安活動促進週間（10月23日から29日まで）に合わせ、高圧ガスに係る事故発生時の対応を確認するとともに、事業所との協力体制を確立する目的で計画したものです。

当日は、地震により緊急停止した移動式製造設備（一般にバルクローリと呼ばれるもの）に乗用車が衝突してLPガスが漏洩したという想定で、ドライバーによる災害拡大防止処置から、消防隊による危険排除、救助隊による要救助者の救出までの一連の流れを確認しました。

今後も、関係機関との合同訓練を積極的に実施し、消防力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体中の公共施設を活用した震災対応訓練を実施

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和3年10月26日（火）から28日（木）までの3日間、解体中の公共施設を活用した震災対応訓練を実施しました。

これは、震災時の災害現場における救助技術の向上を目的として実施したものです。

当日は、エンジンカッターや削岩機等の破壊器具を使用し、建物内の壁を破壊する実践的な訓練を実施しました。

この結果、ブリーチング技術、建物構造を考慮した資機材の選定、作業空間の安全確保などに習熟でき、有意義な訓練となりました。

今後も、震災対応への知識を深めるとともに、さらなる救助技術の向上のため訓練を重ねてまいります。



【訓練の様子】

◆ 新名神高速道路合同防災訓練を実施

川西市消防本部（兵庫）

川西市消防本部では、令和3年10月28日（木）、新名神高速道路川西インターチェンジ管理ヤード内において、新名神高速道路合同防災訓練を実施しました。

これは、高槻インターチェンジから川西インターチェンジまでの間で発生する災害に備えるため、沿線5市（高槻市、茨木市、箕面市、池田市、川西市）と西日本高速道路株式会社関西支社との連携強化を図るとともに、迅速な救助活動を行う目的で実施したものです。

本訓練は、今回で4回目ですが、川西インターチェンジでは初めての実施となります。

今後も、継続して訓練を実施することで、各関係機関との連携を深め、実災害に備えてまいります。



【訓練の様子】

◆ 備中地区6消防本部合同による浸水家屋からの救出訓練を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和3年10月28日（木）、市内の配水池において、備中地区6消防本部（笠岡地区消防組合消防本部、井原地区消防組合消防本部、総社市消防本部、高梁市消防本部、新見市消防本部、倉敷市消防局）合同による浸水家屋からの救出訓練を実施しました。

これは、倉敷市消防局において、平成30年7月豪雨災害での経験をもとにゴムボートによる家屋からの救出方法を確立したことから、その方法を共有する目的で実施したものです。

近年、全国的に多くの水害が発生し、毎年のように緊急消防援助隊の出動があります。発災時に迅速な対応ができるよう、備中地区各消防本部との連携強化を図り、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 消防救急無線中継局の障害対応訓練を実施

筑後地域消防指令センター（福岡）

福岡県筑後地域の7消防本部で共同運用する筑後地域消防指令センターでは、令和3年10月25日（月）から28日（木）までの4日間、無線中継局の障害対応訓練を実施しました。

これは、平成29年九州北部豪雨災害で数日間に及ぶ停電が発生した際、非常用発電設備の運用に移行したものの燃料減少による電源停止が目前に迫り、中継局機能が失われる寸前であったことや道路損壊により発電設備への給油が困難を極めたことを踏まえ、毎年実施しているものです。

訓練では、中継局までのルートと、発電設備への給油及び燃料減少による自動停止後の復旧等の手順を確認しました。

今後も、重要通信施設である無線中継局の安定運用を確保するため、さまざまな対策を講じてまいります。



【訓練の様子】

◆ 自動車学校の施設を活用した車両操縦訓練を実施

最上広域市町村圏事務組合消防本部（山形）

最上広域市町村圏事務組合消防本部では、令和3年10月22日（金）、29日（金）の両日、山形最上ドライビングスクール（新庄市）の施設を活用した車両操縦訓練を実施しました。

この訓練は、安全運転技術と交通事故防止に対する意識の向上を図ることを目的に実施したもので、現任の機関員のほか、今後、機関員として指名が予定されている隊員が、大型・中型・普通の各消防車両に乗り、隊長が道路狭隘箇所、カーブ、方向転換、坂道発進などの操縦技術を指導しました。

参加した隊員からは、「何度も走行したことで、見た目と実際の通過ルートのずれを理解でき、大いに役立った。」との声も聞かれました。

今後も、さらなる安全確実迅速な車両運行により、地域住民の安心・安全の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修 等

◆ 3か年で全職員333名が倫理研修を受講

尾三消防本部（愛知）

尾三消防本部では、令和3年10月18日（月）、19日（火）の2日間、一般社団法人日本防災教育訓練センターのサニーカミヤ氏を講師に迎え、職員研修を実施しました。

この研修は、「消防職員のパワハラ対策～しない・させない・見過ごさない～」をテーマとして、令和元年度から3か年計画で実施しているもので、今回で全職員333名が受講したことになります。

研修では、管理職員から若手職員までが各種ハラスメントに対する統一見解を持つことで、ハラスメントを未然に防げ、風通しのよい職場環境が作れることを学びました。

当消防本部では、消防長のハラスメント防止宣言、ハラスメント防止等相談窓口の設置、女性職員を含むハラスメント防止委員の任命等、相談しやすい環境を整えることで、ハラスメントの撲滅に努めています。

今後、職員間で互いの人格を尊重し、能力を十分に発揮できる環境を整えることで、さらなる住民サービスの向上を図ってまいります。



【訓練の様子】

◆ 7つの消防本部が合同で予防研修を実施

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部（静岡）

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部では、令和3年10月22日（金）、当消防本部の庁舎において、静岡県西部地区消防長会（浜松市消防局、磐田市消防本部、掛川市消防本部、湖西市消防本部、菊川市消防本部、御前崎市消防本部及び袋井市森町広域行政組合袋井消防本部で構成）の7消防本部合同で予防研修を実施しました。

当日は、コロナ禍でもより多くの職員が研修に参加できるよう、WEBと集合形体のハイブリッド形式で実施したことで、合計209名の職員が参加しました。

研修は、愛知県春日井市消防本部予防課の長江立氏を講師に招き、「非特定用途防火対象物における違反是正」について講演いただきました。講師の経験を踏まえた大変有意義な内容で、参加職員の査察知識を深めることができました。

今後も、7消防本部が連携協力して査察知識・技術の向上を図るとともに、「新たな日常」における消防行政の構築に向けてさまざまな事業に取り組んでまいります。



【研修の様子】

◆ 安全走行・誘導技術研修会を実施

北広島町消防本部（広島）

北広島町消防本部では、令和3年10月17日（日）、24日（日）の両日、広島市安佐北区の株式会社可部自動車学校において、教習コースを開放していただき、安全走行・誘導技術研修会を実施しました。

この研修会は、毎年、機関員の指名を受けた者、今後機関員になる予定の者を対象に、消防車及び救急車を運転するために必要な知識・技術を習得するとともに、車両誘導技術を向上することで、災害出動時に安全かつ迅速な緊急走行ができることを目的として実施しているものです。

今後も、本研修会を継続し、安全走行及び誘導技術の向上を図ってまいります。



【研修会の様子】

◆ パワーハラスメント対策研修会を実施

日立市消防本部（茨城）

日立市消防本部では、令和3年10月25日（月）、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事サニーカミヤ氏を講師としてお招きし、パワーハラスメント対策研修会を実施しました。

研修会は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、大ホールを貸し切り、ソーシャルディスタンスを確保して実施し、全国の消防本部の不祥事の状況などを交え、個人がどう対応するか、消防本部としてどのように対応するか、また、ハラスメントが発生した時のリスク、代償についてディスカッション形式でお話をいただきました。

今後も、職員一人一人が相手を尊重する自覚をもち、「働きやすい職場環境づくり」に取り組んでまいります。



【研修会の様子】

◆ 社会福祉施設防火安全講習会を実施

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部（埼玉）

朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部では、令和3年10月27日（水）、社会福祉施設防火安全講習会を実施しました。

この講習会は、管内の社会福祉施設の職員を対象とし、施設における火災被害の低減に向けた防火安全対策の推進を図ることを目的に毎年実施しているものです。

内容は2部構成とし、前半に夜間の火災発生を想定した「火災図上訓練」を実施し、どのような対応が必要かを参加者自身に考えてもらい、後半に消火器の取扱訓練やスプリンクラー設備の消火見学などの消防設備の有効性を学んでもらいました。

今後も、地域の防火安全のため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【講習会の様子】

◆ 違反是正実務研修会を実施

東山梨消防本部（山梨）

東山梨消防本部では、令和3年10月27日（水）、山梨県違反是正支援アドバイザーである富士五湖消防本部の違反是正担当者を講師に招き、当消防本部及び笛吹市消防本部の予防担当者を対象に、現場に即した違反是正実務研修会を実施しました。

当日は、富士五湖消防本部の違反処理事例をもとに、違反処理方法について学ぶとともに、訓練棟を違反対象物と設定した実況見分シミュレーションを実施しました。

本研修会を実施したことで、違反対象物の是正推進にあたり、基礎知識を深めることができ、今後の業務の参考となる有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

◆ 建築部局に対する消防法令に関する研修を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和3年10月26日（火）、27日（水）の2日間、市役所庁舎や学校などの公共建築物の建築設計や設備設計を担当している当市の若手技術系職員に対し、消防法令に関する研修を実施しました。

この研修では、消防設備規制の基本となる防火対象物の単位や用途、無窓階判定などについての考え方を解説するとともに、実際の設計図書を用いた消防同意時のチェックポイントを説明し、設計に必要な知識の習得につなげる内容としました。

また、この研修に併せて、令和3年10月21日（木）に当市建築部局による建築法規研修を実施しており、当消防局の若手予防従事者が建築基準法の基本的事項を学びました。

消防と建築の担当部局が双方向に研修機会を設けたことで、若手職員のスキルアップと連携強化を効率的に進めることができました。



【研修の様子】

◆ 消防職員人材育成研修を開催

青森地域広域事務組合消防本部（青森）

青森地域広域事務組合消防本部では、令和3年10月28日（木）、消防職員人材育成研修を開催しました。

これは、人材育成計画に基づき定期的に行っているもので、今年度4回目の開催となります。

当日は、元自衛官幹部で、現在、青森県危機管理対策監の船森様をお招きし、「自衛隊の災害対応」と題し、自衛隊の組織概要、災害派遣時の装備や活動実績について講義いただきました。

昨今の大規模災害においては、消防機関と自衛隊を始めとした他機関との連携が非常に重要となっています。

本研修を実施したことで、自衛隊の理解が深まる非常に有意義な研修となったほか、来年度青森市で実施予定の「緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練」で訓練想定を企画する上でも、大変参考となりました。



【研修の様子】

そ の 他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、令和3年10月25日（月）、消防協力者2名（親子）に対し、消防長が感謝状と記念品を贈呈しました。

本事案は、令和3年9月17日（金）、市内で発生した建物火災において、近隣住民の女性がいち早く火災に気づき、自宅にいた父親に知らせるとともに、消防へ通報しました。また、知らせを聞いた父親が火災現場に駆け付け、水バケツによる初期消火を実施して延焼を防止しました。

親子が連携して迅速な通報と的確な消火活動を行ったことにより、被害を最小限に抑えることができました。



【感謝状贈呈式の様子】



【感謝状贈呈式後の記念撮影】

◆ 予防技術資格者胸章交付式を実施

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和3年10月26日（火）、予防技術資格者胸章交付式を実施しました。

これは、「防火査察」、「危険物」、「消防用設備等」の3つの区分全てにおいて予防技術資格者として認定されている職員に対し、消防長が胸章を交付したものです。

胸章は、立入検査や防火指導に赴く際に取り付けるもので、職員の意見を取り入れ、当消防本部を表す「HAKUI FIRE DEPT.」の頭文字を取った「HFD」のロゴをあしらい、オリジナリティ溢れるものとなっています。

交付に当たり、消防長から「予防業務の推進役として役目を果たして欲しい。」と訓示しました。

胸章を受領した職員には、地域住民のニーズに応えながら安全・安心の確保のため、一層予防業務に邁進することを期待します。



【胸章】



【交付式後の記念撮影】

◆ 消防協力者感謝状贈呈式を実施

木更津市消防本部（千葉）



【感謝状贈呈式後の記念撮影
※1名は、郵送で後日贈呈】

木更津市消防本部では、令和3年10月27日（水）、消防協力者感謝状贈呈式を実施しました。

本事案は、令和3年9月20日（月）、木更津港の栈橋から73歳男性が転落したところ、仕事のため小型ボートの準備をしていた男性が発見し、直ちに現場へ向かい、小型ボート上へ引き上げたものです。また、車で走行中の女性も73歳男性が転落した瞬間を目撃し、早期に通報しました。

両者の冷静な判断と迅速な行動により、要救助者の早期救出につながったことから、その功績を称え、消防長から感謝状を贈呈しました。

◆ 火災調査アドバイザー認証交付式を実施

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和3年10月29日（金）、火災調査アドバイザー認証交付式を実施しました。

火災調査アドバイザーとは、平成29年度から実施している認定制度で、火災調査に精通した職員を同アドバイザーとして認定し、火災調査現場や講習会における助言や指導を行っています。

今回、同アドバイザーが、より一層の自信と責任感を持って職務に励むことができるよう、貸与している火災調査服に取り付けられるワッペン型の認証を交付しました。

交付式では、調査服姿で参加した同アドバイザーに対し、消防長が一人一人の左胸に認証を取り付けました。

火災件数の減少に伴い調査技術の低下が懸念されていますが、アドバイザーを中心に、火災原因の究明と組織全体の調査に関する知識・技術の向上に努めてまいります。



【交付式の様子】



【交付式後の記念撮影】

◆ おおぞらっ子消防・防災クラブの結成式を実施

三沢市消防本部（青森）

三沢市消防本部では、令和3年10月21日（木）、おおぞらっ子消防・防災クラブの結成式を実施しました。

これは、おおぞら小学校の全児童86名がクラブ員となり、新たな少年消防クラブが結成されたことから実施したものです。

当日は、三沢市防災協会から同クラブに対し、クラブ旗とアポロキャップが寄贈されました。

クラブ員たちは、消防・防災クラブの一員として意気揚々と頼もしい誓いの言葉を述べていました。

今後、力を合わせて地域の防火防災活動のために取り組んでまいります。



【結成式の様子】



【結成式後の記念撮影】

◆ 水防学校を開催

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合板倉消防署では、令和3年10月22日（金）、板倉町役場と共同で水防学校を開催しました。

この水防学校では、毎年、町内の小学生に対し、地元の水防災への理解と関心を深めてもらうために簡易水防工法等を指導しているものです。

今後も、幼少期からの水防に関する教育の一環として、水防学校を継続してまいります。



【水防学校の様子】

◆ 住宅用火災警報器の設置及び維持管理についての普及啓発事業を実施

下北地域広域行政事務組合消防本部（青森）

下北地域広域行政事務組合消防本部では、秋の火災予防運動行事の一環として、令和3年10月24日（日）、管内の家電量販店において、婦人防火クラブと合同で住宅用火災警報器の設置及び維持管理についての普及啓発事業を実施しました。

これは、管内の設置率が依然として全国平均よりも低い状況にあることに加え、設置の義務化から10年以上が経過した既設のものに対する維持管理が重要であることから実施したものです。

当日は、一般社団法人日本火災報知機工業会様から「とりカエル」の着ぐるみを借用し、子供から年配の方まで幅広い層へ広報活動を実施しました。

今後も、住宅防火を推進するため、広報活動に取り組んでまいります。



【普及啓発事業の様子】

◆ 小学生向け冊子「みんなの消防」を27年ぶりに完全リニューアル！！

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和3年10月27日（水）、小学生向け冊子「みんなの消防」（B5版16ページ）を27年ぶりに完全リニューアルしました。

これは、消防署見学の際、説明や展示ができないところを当冊子で補足するとともに、教科書の副読本として利用することで、消防についての理解を深めてもらう目的で内容を一新したものです。

この冊子は、初版から27年経過し、延べ3万人の市民に配布しているもので、制作を全て職員が手掛けており、消防の仕事をクイズで楽しく学べるほか、撮り下ろした公式動画をQRコードからタブレット等の携帯端末で閲覧できるなど、より多くの情報を授業に取り入れられることから好評を得ています。今回3,000部を制作し、訪れる方をお待ちしています。

当消防局ホームページからぜひご覧ください。

URL：<https://www.east.tottori.tottori.jp/3266.htm>



【みんなの消防（内容の一部）】



【日本海ケーブルネットワークで放映された様子】

◆ 警防技術指導員・警防技術支援員選考試験を実施

岡山市消防局（岡山）

岡山市消防局では、令和3年10月21日（木）、28日（木）、29日（金）の3日間、警防技術指導員・警防技術支援員（以下それぞれ「指導員」、「支援員」という。）選考試験を実施しました。

指導員とは、消防活動に必要な高度な知識及び技術を有するとともに、優れた判断力により、現場指揮及び安全管理の任務を遂行できる職員のことです。また、支援員とは、消防活動について職員に対して効果的な技術指導及び助言が行える職員のことです。

これは、その指導員・支援員を指定するために令和元年11月から実施しているもので、指定した種目において、確実性、迅速性及び指導内容などを審査し、合格すると晴れて指導員・支援員に指定されます。

現在、指導員33名、支援員31名が指定されており、日々訓練の指導、支援等に当たっています。

今後も、指導員・支援員を中心に職員の育成及び警防技術の発展並びに普及に努めてまいります。



【選考試験の様子】

国等の動き

報道発表

◆ 防災拠点となる公共施設等の耐震化推進状況調査結果

（令和3年10月28日、消防庁）

消防庁では、防災拠点となる公共施設等の耐震化状況について調査を実施し、この度、令和2年10月1日現在の状況を取りまとめましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/ac8b68928034658073b3b6cca8498507d204815a.pdf>）に掲載されています。

（連絡先）消防庁国民保護・防災部防災課

震災対策専門官 西岡 武則

震災対策係長 鈴木 翼

事務官 北澤 将吾

TEL 03-5253-7525

◆ 令和3年（5月から9月）の熱中症による救急搬送状況

（令和3年10月29日、消防庁）

熱中症による救急搬送人員について、令和3年5月から9月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211029_kyuki_01.pdf)に掲載されています。

（連絡先）
消防庁救急企画室
担当：若味、入江、富樫
電話：03-5253-7529
FAX：03-5253-7532

◆ 令和2年（1～12月）における火災の状況（確定値）

（令和3年10月29日、消防庁）

令和2年中の火災の状況について、1月から12月までの確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211029_boujiyo_1.pdf)に掲載されています。

【担当】
消防庁国民保護・防災部防災課防災情報室 竹本 安達 高田
予防課 栗原 佐藤 河野
（代 表）TEL 03-5253-5111/FAX 03-5253-7536

◆ 令和3年秋の褒章（消防関係）

（令和3年11月2日、消防庁）

令和3年秋の褒章（消防関係）受章者は109名で、褒章別内訳は次のとおりです。

紅綬褒章	3名
黄綬褒章	7名
藍綬褒章	99名
計	109名

（受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。）（別添省略）

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/c3b0c61986d047a773e708e041c6dbbccbb51632.pdf>)に掲載されています。

連 絡 先
消防庁総務課
泉水政策評価広報官・中原係長・監物事務官
Tel 03(5253)7521 内線 42173
Fax 03(5253)7531

◆ 令和3年秋の叙勲（消防関係）

（令和3年11月3日、消防庁）

令和3年秋の叙勲（消防関係）受章者は613名で、勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝中綬章	2名
瑞宝小綬章	27名
旭日双光章	6名
瑞宝双光章	55名
瑞宝単光章	523名
計	613名

（受章者名等は、別添の受章者名簿に記載されています。）（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/211103_soumu_01.pdf）に掲載されています。

連 絡 先
消防庁総務課
泉水政策評価広報官・中原係長・監物事務官
Tel 03(5253)7521 内線 42173
Fax 03(5253)7531

情報提供

◆ おせちの特別販売のご案内

一般財団法人全国消防協会

一般財団法人全国消防協会の指定店登録事業者である株式会社高島屋では、会員（消防職員）向けの販売サイトを開設しています。

このたびはおせち特集として、数量限定にて各種おせちを令和3年12月17日（金）まで販売いたします。なお商品は同月30日（木）にお届けいたします。

本件につきましては、令和3年11月17日（水）に各本部宛に販売サイトのご案内チラシをメールにて送付いたします。

【問合せ先】

業務課

担当：河野、石井^{かわの}健一

電話：03-3234-1321

* お知らせ

建物名称の変更がありましたので、ご連絡いたします。

○ 全国消防長会及び一般財団法人全国消防協会

変更日：令和3年11月15日

新名称：麹町一丁目ビル

旧名称：アーバンネット麹町ビル

※建物名称以外の住所、電話番号、FAX番号の変更はありません。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0314）1ページ、機関誌「ほのお」2021年4号（4／25発刊）25ページ又は5号（5／25発刊）30ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 菅原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

- ・文章は、Wordで150文字以内で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 菅原

原稿データは、honoo@fcj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

記事の投稿に関する注意点

- ・配信日（原則火曜日）に近い時期のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 浅倉

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。